

# JOSEPH BEUYS



開館30周年記念

## ヨーゼフ・ボイス

2024年3月9日(土) → 5月19日(日)

休館日：毎週月・火・水曜日

開館時間：10:00-17:30 ※入館は閉館の30分前まで

■ 3月10日[日] 14:00- 若江漢字によるトークイベントを開催

主催：カスヤの森現代美術館

助成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団

カスヤの森現代美術館

9.Mar - 19.May 2024

Talk Event: 10. March, 14:00 -

Venue : MUSEUM HAUS KASUYA

Opening Hours : 10:00 - 17:30 (Last admission 17:00)

Closed on Mondays, Tuesdays and Wednesdays

Address : 7-12-13, Hirasaku Yokosuka-city Kanagawa 238-0032

Mail Art from Joseph Beuys "Geysir" 1976



MUSEUM HAUS KASUYA  
<https://www.museum-haus-kasuya.com/>

私は、どんな人間も芸術家であると申しましたが、それはどんな人間も画家になったり、あるいはモーツァルトのようになっていたりすることを意味するのではありません。どんな人間も社会の変革のために働けるという意味です。

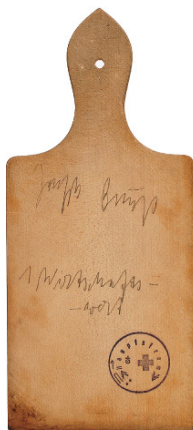
(1984年5月30日 朝日ホールでのレクチャアより) \*書籍「ドキュメント ヨーゼフ・ボイス」1984年 発行：西武美術館・WAVE・SPN 発売：ペヨトル工房 1984年



“Noiseless Blackboard Eraser” 1974年  
《音のしない黒板消し》



“Object to Smear and Turn” 1972年  
《グリスを塗り、回すためのオブジェ》



“Wirtschaftswert: Küchenbrett”  
《経済の価値：まな板》



“Capri Batterie” 1985年  
《カプリ・バッテリー》



“Celtic + ~~~~” 1971年  
《ケルティック》

ヨーゼフ・ボイスは「社会彫刻」と呼ばれる社会の中に機能する芸術の概念を生み出し、60年代以降のアートシーンに多大な影響を与えると共にその作品やアクションを通し、政治、経済、環境という社会的な問題について様々なメッセージを発信し続ける事で従来の近代美術を克服した20世紀を代表する作家の一人です。

2024年は生前、唯一実現した来日から40年の節目の年にあたり、本展では当館のコレクションの中でも普段展示されていない作品やアクションの記録写真などを展覧し、生前日本で開催された展覧会から40年が経過する中、改めてその作品に触れ、そこから導かれる思想や未来の芸術のあり方を示そうとしたボイスのメッセージを再考する機会になればと考えます。

\*1984年に来日した際、ヨーゼフ・ボイスはインタビューの中で自身の芸術活動について以下の言葉を残している。

「私が試みていることは観賞される芸術作品ではなく、作品を通して何故それが成立しているのか、それがいかに社会と係わりをもっているのか—そういう何故という問いを起こさせることであったのです。つまりそれが私のアクションの意味なのです」

(中略)

「私の目的は、自らが芸術家であることを見せることではなく、それを見た人々に問いに至るまでの意識を喚起させることでした。そこでは見る人そのものが問題になっているということです。私は人々の中に深く眠っているこうした意識を呼び起こすために、アルカイックな方法をとったわけです」(1984年5月30日 朝日ジャーナル インタビューより)

\*書籍「ドキュメント ヨーゼフ・ボイス」1984年 発行：西武美術館・WAVE・SPN 発売：ペヨトル工房

つまりボイスが目指したのは人々が美術館を訪れ、そこに飾られた作品を観賞することで完成する従来の芸術表現ではなく、観賞した時に始まり、観賞後の人々の行動こそが重要であり、ボイスはその行動のきっかけを与えるために様々な手法を生み出し、提示し続けたと考えられます、単に新しく奇抜な表現を求めた訳ではなく、人々の中に新しい意識が芽生える事を信じて。

開館30周年記念

## ヨーゼフ・ボイス

2024年3月9日 [土] - 5月19日 [日]

### 会期中のイベント

- 美術家・若江漢字によるトークイベントを開催  
日時：3月10日 [日] 14:00より
- 高橋アキ・ピアノコンサート ※チケット要予約  
曲目：シューベルト、クセナキスなど  
日時：4月13日 [土] 15:30開場 16:00開演

### 開館時間・観覧料

- 休館日：月・火・水曜日 ※4/29(月)、5/6(月)は開館いたします。
  - 観覧料：一般：800円 学生：600円 (小学生400円)
  - 開館時間：10:00 - 17:30 (入館は17:00まで)
- ※会期中、4/13(土)はイベント開催につき一般の方の見学は12時までとさせていただきます。

### 美術館へのアクセス

- ◎ 電車、バスの場合
  - JR横須賀線衣笠駅より徒歩15分
  - 京浜急行汐入駅下車、衣笠駅行きバスにて約15分、金谷バス停下車、徒歩約7分
- ◎ お車の場合
  - 横浜横須賀道路で横須賀ICから約5分、阿部倉トンネルを通り平作4丁目交差点の次の信号を左折、福泉寺の先を左折(無料駐車場あり)

### カサヤの森現代美術館



〒238-0032 横須賀市平作7-12-13  
TEL: 046-852-3030

